

## 林野庁長官賞

### 地域材の総合供給システム確立の取組み 素材の生産から加工流通までの一貫体制

新潟県山北町森林組合

組合長理事 佐藤 寛

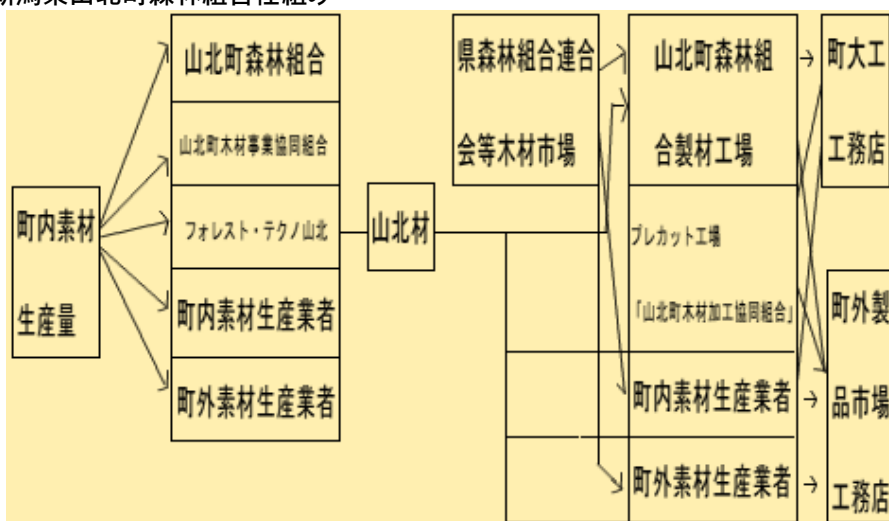
□事業体の構成

〒959-39 新潟県岩船郡山北町大字府屋121-2

TEL0254-77-3121



#### □新潟県山北町森林組合仕組み



## 1 地域の概要

山北町は県の最北端に位置し、区域面積の93%が森林で占められ県内でも特に急峻な地形が多いが、樹木の成長は旺盛で豊かな森林資源を育んでいる。

なお、町には従来から、伐ったら植える「愛林思想」が浸透しており「山北林業」と呼ばれ、県内では屈指の林業地である。

森林面積は26,509ha、(内国有林3,380ha)で人工林面積9,883ha、民有林の人工林率は43% (県平均25%)でその90%がスギである。

人工林の齢級構成は10齢級を越えるものが2,353haで全体の24%となり、今後主伐期を迎える林分が増加することが予想される。

近年の素材生産量は25,000m<sup>3</sup> (国有林は4,000m<sup>3</sup>)前後で推移し、県内生産量の約10%に達し、県産材の重要な供給基地となっている。また、町には木材業の数が非常に多く、製材会社9社、素材生産業者30社弱が1町内で事業を行ってお

り、林産・木材加工関係に従事している人も多く、地形が急峻等のこともあり、優れた伐出技術者が育成されている。

## 2 事業内容等

### (1) 事業の目的

豊富な資源量と経済的にも林業依存度が高いという地域性の中で、森林組合では林家所得の向上と地域の活性化を図るには、素材生産から製材・加工・流通までの一貫したシステムの構築により、高付加価値生産をすることが不可欠であると考え、組合では地域の先導的役割を担うべき「素材生産組織体」『山北町木材事業協同組合』及び「後継者等担い手の育成と機械化の推進」をめざし、『フォレスト・テクノ山北』、プレカット工場『山北町木材加工協同組合』を設立し、地域材の総合供給システムの確立に取り組んでいる。

### (2) 事業の内容

#### ア. 地域材の安定供給体制システムの確立

##### ・「山北町木材事業協同組合」の設立

組合では、平成4年に林業山村活性化林業構造改善事業の導入により、地域の素材生産業者8社と共同で、伐出作業の協業化・機械化の進出による作業システムの改善をめざし、素材生産組織体「山北町木材事業協同組合」を設立し、活発な素材生産活動を行っている。

##### ・プレカット工場「山北町木材加工協同組合」の設立

組合では、平成4年に林業山村活性化林業構造改善事業の導入により、製剤から建築までの加工過程における低コスト化と製材品の付加価値の向上を図るため、地域の製材業者4社と共同で「山北町木材加工協同組合」を設立し、地域材の需要拡大と大工職人等技能労働者問題の解消に取り組んでいる。

##### ・フォレスト・テクノ山北

平成5年、地域の林業後継者グループ「山北町森林組合林業研究部会」のリーダーが中心となり、地域の木材業者に呼び掛け、森林所有者3戸と木材業者の後継者等3社計6人の若手による、素材生産組織体「フォレスト・テクノ山北」を設立し、林業の担い手育成・確保と高性能林業機械化の推進をめざしている。

なお、現在当グループでは、高性能林業機械（ハーベスタ1台、フォワーダ1台）を導入し効率的な素材生産と高性能機械北林業の推進に取り組んでいる。

### (3) 事業の実績等

(単位：千円)

事業種目	平成5年度		平成6年度		平成7年度		摘要
	事業量	事業額	事業量	事業額	事業量	事業額	
素材取扱量	4.496	110.113	4.518	142.703	4.443	140.931	スギが99.9% 事業量はm <sup>3</sup>
製材加工品	6.289	384.358	5.528	347.772	5.985	346.225	角類、板類、割類等
丸棒加工品	-	-	-	-	535	53.663	事業量はm <sup>3</sup>
木工芸品	147.666	83.065	175.718	96.901	163.072	94.109	木製ベンチ、 焼きスギ等で、 事業量は個数
オガ粉	17.580	36.730	17.077	28.078	16.455	26.162	事業量はm <sup>3</sup>
プレカット 工場	-	-	加工棟数 282棟	加工m <sup>3</sup> 4.670	加工棟数 255棟	加工m <sup>3</sup> 4.540	

### (4) 事業の成果

#### ア. 林産活動の活性化

地域森林所有者の所得向上と県産材（地域材）の振興を図るため、計画的かつ安定的な生産供給体制の整備をめざしたことにより、町内木材業者への波及効果も大きく、現在では組合と町内木材業者が一体となり生産コストの低減と地域材の高付加価値化に取り組み地域の林産活動が活性化している。

#### イ. 地域林業の活性化

林業依存度の高い地域において、組合が森林造成はもとより、素材生産・流通にも率先して取り組むことにより、組合が地域林業総合企業体として位置付けられ、現在では町内外から若年者の新規就労者が参入しており、地域の林業が活性化している。

#### ウ. 県産材（地域材）の自給率向上

1町で県内素材生産量（針葉樹）の約10%を生産し、県産材の重要な供給基地として位置付けられている地域において、組合が先頭に立ち素材生産から製剤・加工・流通までの一貫したシステムの構築をめざすことにより、県産材（地域材）の自給率向上の一翼を担っている。

(5) 今後の取り組み

スギ人工材資源が充実しており、今後ますます伐採対象林分が増加する当地において、組合の素材生産量は、年4,500m<sup>3</sup>前後で推移しており少なめであるが、これは町内素材生産業者の活発な生産活動との役割分担の結果である。

このような中で、今後組合では素材生産（供給）・加工（高付加価値化）の一層の充実を図るとともに、最終消費である大工・工務店等を包括したネットワーク化に取り組み町内木林業者と補合・補完の関係を維持しながら山北材の産地形成をめざすものである。